

たった一言がやる気を起こさせる

新年度がスタートして一ヶ月が過ぎました。学校や職場では緊張が続き、慣れない対人関係からストレスが溜まる五月病という言葉があるくらい、五月は精神的、肉体的に負荷がかかる時期でもあります。

私自身も行政の仕事に就いた時には、人権教育、PTA、図書館、婦人会、文化財を一人で担当し、心身共に余裕のない日々が続いていました。慣れない仕事のうえに、膨大な書類が机の上を占拠しており、逃げ出したいくなるような毎日でした。

すべてが嫌になりかけていた頃、悩んでいる私をみた当時の上司が、「大変だろうけれど頑張ってくれよな」と声をかけてくれたのです。

この一言がどんなに励みになったことでしょうか。疲れ切っていた私の心が、この一言で癒されたのです。

涙が自然と流れた。そしてこの上司の一言を機に、慣れない仕事に取り組む姿勢、意欲が変わってきました。この上司に出会えたことは、私にとって大きな財産です。

私は、上司の一言から、思いやり、気遣い、心配りの必要性、言葉がけや誉めることの大切さを学びました。この経験は、今でも大いに役立ち、プラスになっています。

児童生徒でも、職員でも、日頃から声をかけ、励まし、賞賛することで、仕事や勉強の意欲につながると私は信じています。今後、この気持ちを忘れることなく、明るく楽しい職場をつくっていききたい。

教育長 根岸 敏夫

我が家のニューフェイス



鈴木 奏 そら 愛ちゃん

生年月日 平成23年5月18日
(大字皆谷)

お父さん：勝 博さん
お母さん：愛優美さん

はじめまして。そらです。わたしにはお姉ちゃんがいるの、いつもお姉ちゃんのまねをして、おしやれをしたりおままごとをしてるんだよ。たまにはケンカもしちゃうけど、お姉ちゃんが大好きなんだ♡

石を拾って遊ぶのが好きで、お家の中にもってきちゃうから、ママがかたづけるのが大変なんだって♡



中学生海外派遣事業 締切りは5月7日(火)
ニュージーランドでホームステイ
平成25年度中学生海外派遣団員を募集します

村では今年度で13回となる中学生海外派遣事業の派遣団員を中学2年生を対象に募集しています。

すでに対象となる生徒には、4月18日に中学校において説明会を開催し、応募要領等を配布しました。事業内容や応募方法等は次のとおりです。

派遣日程 8月20日(火)～28日(水)の9日間

派遣国 ニュージーランド

内容
①ホームステイ(4泊)
②学校訪問・授業体験
③文化教育施設等の視察研修

④事前研修(派遣報告書の作成) 応募対象者 村内在住で中学校第2学年

参加費用 参加者負担金10万円
そのほか渡航手続き等の費用や任意保険料、諸雑費などが個人負担となります。

応募方法 5月7日(火)までに、所定の「派遣志願書」、保護者の「承諾書」および「作文」(原稿用紙3枚以上)を中学校へ提出してください。作文のテーマは、海外派遣に参加する理由や抱負、また、この体験を将来どのように生かしていきたいかなどです。

選考 作文の内容などにより派遣内定者を決定し、本人に通知します。ただし、内定者は数回の事前研修の終了後に正式な団員となります。よって、途中団員側の理由により参加できなかった場合は、お預かりした参加者負担金を返却できないことがありますのでご了承ください。

問合せ 教育委員会事務局

☎ 82 1 2 3 0